

# TOP Beauty NEWS



トップ広告社がお届けする美容・ファッションのトレンドニュース♪ **2024**

## 「美容サロン就業実態調査」

※美容師、ネイリスト、エステティシャン、リラクゼーションセラピスト、まつげエクステスタッフ

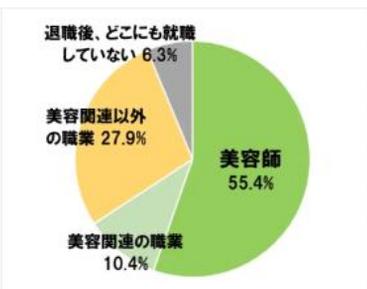
### ■【美容師】初職就業期間

※美容師免許保有者かつ学校卒業後の初職が美容師の人 (n=5,065、単一回答)



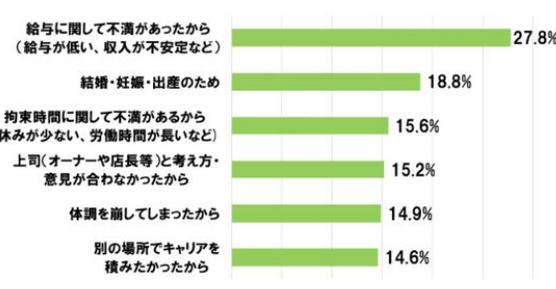
### ■【美容師】初職からの転職先の職業

※美容師免許保有者かつ学校卒業後の初職が美容師で、その後辞めた/転職した人 (n=4,653、単一回答)



### ■【美容師】初職を辞めた/転職した理由

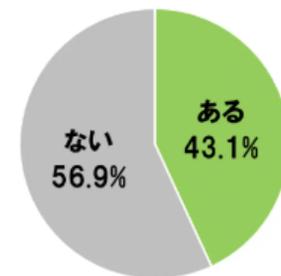
※美容師免許保有者かつ学校卒業後の初職が美容師で、その後辞めた/転職した人



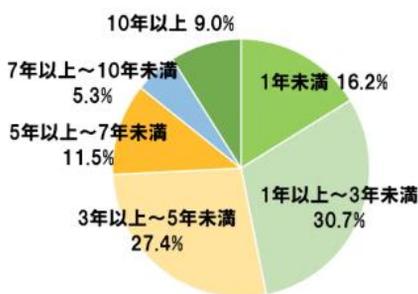
美容師が初職からの転職先の職業で、美容師を継続するのは55.4%。3割以上は、美容とは関係のない職に就くかどこにも就職しない結果に。

### ～現役美容師における離職経験と、復職のきっかけについて～

#### ■離職経験の有無



#### ■離職していた期間



#### ■【美容師】離職に関する指標

(年)	2024	2023	2022	2021	2020
1年以内の美容師離職率	3.3%	3.1%	4.1%	3.9%	4.5%
美容師離職率	48.0%	46.5%	48.4%	48.1%	50.4%
休眠美容師率	58.3%	57.0%	58.7%	57.8%	59.2%
美容師勤務未経験率 ※免許のみ保有	19.8%	19.6%	20.0%	18.7%	17.8%

■調査概要

調査名：美容サロン就業実態調査（2024年） 調査手法：インターネットリサーチ

#### ■復職のきっかけ



現役美容師さんに離職経験（美容師を辞めた経験）を聞くと、4割以上が経験が「ある」と回答。そのうちの7割以上が5年未満で復職していることが分かりました。

復職したスタッフの方へお話を伺うと、「美容が好き」、「人をキレイにすることが好き」とおっしゃる方が多く、好きだからこそ、美容師として再び働く方が非常に多いと感じます。初職の離職率も高い一方で、資格を生かした復職が少ないのも美容業界の特徴です。

「働きたいと思った人が、いつでも働ける」持続可能性の高さを業界の魅力として発信していくことが、働く人の増加につながっていくと思います。

## 切らない小顔施術 インモードリフティング

### インモードリフティングとは

インモードリフティングは、美容先進国イスラエルのインモード社の複合機「インモード」の「フォーマ」と「ミニFX」のコンビネーション治療です。

お隣の韓国で大人気の小顔メニューで、「切らない小顔治療」「HIFUに匹敵する即時効果」と話題のコンビネーションです。

「フォーマ」×「ミニFX」の相乗効果によって、効率よく脂肪細胞を破壊して、強力なタイトニング効果を最大限に引き出すことが最大の魅力。

施術中の痛みはなく、温かい感覚でむしろ心地よい。術後に傷跡や痛みが残ることはほとんどありません。

お顔のボリュームダウンとシャープなフェイスライン、二重あごの改善をオペナシで目指すことができます。



- 〈こんな人にオススメ〉
- ・顔周りのたるみが気になる人
- ・フェイスラインをすっきりさせていたい人
- ・ダウンタイムをほほなく過ごしたい人



## 攻めの一滴、更なるハリへ。 『レチノイン酸誘導体※ (HPR)』☆

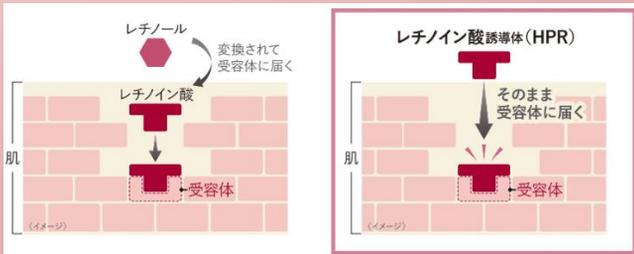
### ●「レチノイン酸誘導体(HPR)」とは？

「レチノール」と同じ「レチノイド」の一種「レチノイン酸誘導体」である「HPR(レチノイン酸ヒドロキシピナコロン/以降「HPR」という)」は、「レチノール」と同じ「レチノイド」という化合物の一種です。近年、美容家のあいだで話題の「グラナクティブレチノイド®」の核となる成分でもあります。

「レチノイド」に分類される化合物は、この他にも「パルミチン酸レチノール」や医薬品として取り扱われる「レチノイン酸(トレチノイン/以降「レチノイン酸」という)」などがあります。

### ●素早い\*アプローチを実現

通常、化粧品に配合される「レチノール」や「パルミチン酸レチノール」は、「レチノイン酸」へ変換されてから受容体に届きます。しかし、「HPR」は医薬品として扱われる「レチノイン酸」と同様に、変換を必要とせず、そのままの形でダイレクトに受容体に届き\*4ます。そのため、年齢肌\*2悩みに効率的にアプローチし、速攻\*でハリやくすみ\*5に対する変化を体感できます。



## W color layer cut

### 注目トレンドスタイル

髪の色が明るくなり、  
しっかりとした発色と透明感が作れる



#### ダブルカラーのメリット

- ・ カラーの発色が良い
- ・ ハイトーンカラーが再現しやすい
- ・ カラーを選ぶ幅が広がる

#### ダブルカラーのデメリット

- ・ 髪や頭皮を傷めるリスクが高い
- ・ なお最近では、ケアブリーチというブリーチ剤が人気
- ・ 発色のクオリティはそのままに、通常のブリーチ剤よりも髪や頭皮へのダメージを軽減
- ・ ヘアカラーの色落ちが早い

髪の高い位置からレイヤーを入れるスタイル

ハイレイヤー



上部にボリュームと動きが出るため、髪全体がべたんとなりやすいなど、髪にボリュームを出したい方におすすめ◎

程良くボリュームを抑えることができるので、髪の量が多い人や髪質が硬めの人など、重さに悩む人におすすめ◎



髪の低い位置から入れるレイヤースタイル

ローレイヤー

ふんわり軽やかな見た目でおしゃれな子や美容師さんにおすすめしている

## 編集後記

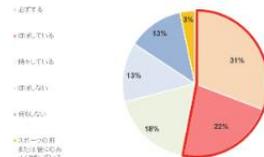
5月も激しい気温の変動でしたが、皆さん体調は崩されていませんか？これから梅雨入りとなりますが、ヘアサロンでは今から『縮毛矯正』の施術が増加傾向にあります。まだまだ「髪質改善」の需要は高いので、縮毛矯正を強みにしているサロンさまはチャンス時期ですね！もう既に対策済みかもしれませんが、髪の紫外線対策のアドバイスはお伝えしているかもしれません。7月以降に向けての準備も、繁忙期シーズンに入る前にしっかりと戦略を立ててサロンを盛り上げていきましょう☆

## スポーツとメイクに関する実態調査

株式会社カティグレイス(本社:東京都台東区、代表取締役 服部 勝高)が展開するコスメブランド「LUMIURGLAS(ルミアグラス)」は、2024年2月29日(木)~3月7日(木)に、スポーツとメイクに関する実態調査を全国921名の女性を対象とし、インターネットリサーチにて実施いたしました。

■約7割が「週に1回以上スポーツをしている」と回答

■2人に1人がスポーツ中も「メイクをする」と回答



N= 924 (単一回答)

■約3割以上が「モチベーションを上げる」「自信を持つ」ためにスポーツメイクをする

■半数以上がスポーツ中のメイクは「眉」「目元」を重視している

全国のスポーツを行う女性を対象に、日頃スポーツ中にメイクをするポイントを調査した結果、「眉のメイク」をする人が30%、「目・目元のメイク」を行う女性が26%という結果となりました。顔の上半身である目と眉は、人と対面する時によく見る・見られるポイントでも、見た目の印象を与えるパーツエリアのため、スポーツ中でも重要視されることが推察されます。



肌を育てるピーリング

## ララピール

第4世代ピーリング



ララピールとは

ララピールとは、化粧品会社のロレアルが開発したLHA(リポヒドロキシ酸=カプリロイルサリチル酸)成分とアルカリを組み合わせたピーリングです。従来のピーリングと違い、肌を刺激せず、線維芽細胞の活性化によりコラーゲンやエラスチンの再生を促し、皮膚を分厚くする効果がありますので、ダウンタイムが少なく、お肌が敏感な方にもおすすめです。回数を重ねることで、肌に弾力を与え、ツヤのある健康的な肌へ導きます。



ララピールの成分効果

#### ● LHA

ララピールに含まれるピーリング成分のLHAには、毛穴を立たなくさせる効果や皮膚の分泌量を抑える効果、不要な角質や毛穴汚れを除去する効果が期待できます。

#### ● P.Sol™

ララピールに含まれるアルカリ成分のP.Sol™には、毛穴を引き締めやコラーゲンの生成をうながす効果、肌の表面を保護する効果が期待できます。

#### ● Lipids

ララピールに含まれる脂質成分のLipidsには肌を保護する効果が期待できます。

検索ワードでも上昇中!

20代	30代
検索ワード	検索ワード
18 顔脱毛	18 フラッシュアンワックス
19 美容鍼	19 顔のセラピー
20 予備矯正	20 マッサージ
21 髪質	21 フェイシャル
22 ワックス	22 美容液
23 バイオドレーズンヤル	23 ワックス
24 フェイシャル	24 顔脱毛
25 フェイシャル	25 フェイシャル
26 フラッシュアンワックス	26 バイオドレーズン

HOTPEPPER Beauty 7月号

発行日: 6/27(金)

申込〆切: 6/7(金)/原稿〆切: 6/13(木)

HOTPEPPER Beauty 8月号

発行日: 7/25(木)

申込〆切: 7/5(金)/原稿〆切: 未定(木)

知ホ\*ド\*ハ\*パ\*デ\*ク 0120-36-0493

発行人

(株)トップ広告社

TEL: 03-5641-0661